

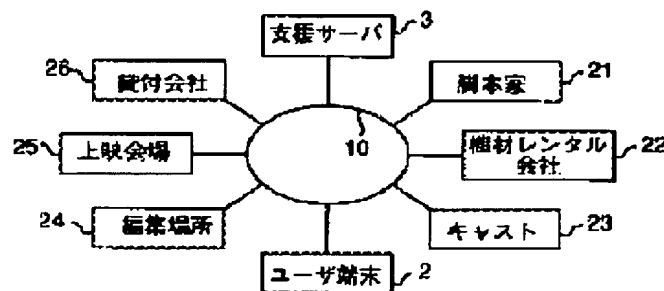
# INDEPENDENT MOVIE MAKING SUPPORT SYSTEM, SUPPORT SERVER FOR INDEPENDENT MOVIE MAKING SUPPORT SYSTEM, COMPUTER READABLE MEDIUM WHICH RECORDS INDEPENDENT MOVIE MAKING SUPPORT PROGRAM, AND INDEPENDENT MOVIE MAKING SUPPORT PROGRAM

Patent number: JP2002215837  
 Publication date: 2002-08-02  
 Inventor: KANESHIRO TETSUYA  
 Applicant: MATSUSHITA ELECTRIC IND CO LTD  
 Classification:  
 - international: G06F17/60  
 - european:  
 Application number: JP20010014411 20010123  
 Priority number(s): JP20010014411 20010123

Report a data error here

## Abstract of JP2002215837

**PROBLEM TO BE SOLVED:** To provide an independent movie making support system that a user can make an independent movie easily and a support side can support it easily. **SOLUTION:** The independent movie making support system 1 is a system which provides a support through a communication line 15 when the user makes the independent movie. It is composed of a support application means 4, which accepts the support application for making the independent movie from the user through the communication line, and a movie making support means 6, which supports the user for making a movie. Besides, a support judging means 5, which decides whether it supports the support application or not, editing support means 7, which supports editing image and sound of the movie, and a showing support means 8 which supports showing the completed movie are included.



Data supplied from the esp@cenet database - Worldwide

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号  
特開2002-215837  
(P2002-215837A)

(43) 公開日 平成14年8月2日 (2002. 8. 2)

(51) Int.Cl. <sup>7</sup>	識別記号	F I	テーマコード <sup>*</sup> (参考)
G 0 6 F 17/60	1 4 6	G 0 6 F 17/60	1 4 6 Z
	3 1 4		3 1 4
	5 0 2		5 0 2

審査請求 有 請求項の数20 O L (全 12 頁)

(21) 出願番号 特願2001-14411(P2001-14411)

(22) 出願日 平成13年1月23日 (2001. 1. 23)

(71) 出願人 000005821

松下電器産業株式会社  
大阪府門真市大字門真1006番地

(72) 発明者 兼城 哲也

大阪府門真市大字門真1006番地 松下電器  
産業株式会社内

(74) 代理人 100062144

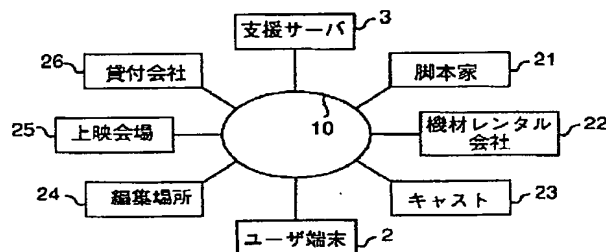
弁理士 青山 葆 (外1名)

(54) 【発明の名称】 自主映画作成支援システム、自主映画作成支援システム用の支援サーバ、自主映画作成支援プログラムを記録したコンピュータ読取り可能な媒体及び自主映画作成支援プログラム

(57) 【要約】

【課題】 ユーザが容易に自主映画作成を行うことができ、また、支援側が容易に支援を行うことができる自主映画作成支援システムを提供する。

【解決手段】 自主映画作成支援システム1は、ユーザ2が自主映画作成を行うにあたって、通信回線15を通じて支援を行うシステムであって、通信回線を通じて前記ユーザからの自主映画作成の支援申し込みを受付ける支援申し込み手段4と、前記ユーザの映画作成にあたって、映画作成を支援する映画作成支援手段6とからなる。好ましくは、さらに、前記支援申し込みについて支援を行うかどうかを決定する支援審査手段5と、作成された映画についての映像及び音響の編集を支援する編集支援手段7と、完成した映画の上映を支援する上映支援手段8とを含んでいる。



(2)

特開2002-215837

2

## 【特許請求の範囲】

【請求項1】 ユーザが自主映画作成を行うにあたって、通信回線を通じて支援を行うシステムであって、通信回線を通じて前記ユーザからの自主映画作成の支援申し込みを受付ける支援申し込み手段と、前記ユーザの映画作成にあたって、映画作成を支援する映画作成支援手段とを含むことを特徴とする自主映画作成支援システム。

【請求項2】 前記支援申し込み手段は、支援レベルを選択する支援レベル選択手段を含むことを特徴とする請求項1に記載の自主映画作成支援システム。

【請求項3】 前記映画作成支援手段は、前記ユーザ端末に前記通信回線を通じて支援内容を画面表示する運営支援手段をさらに含み、前記運営支援手段によって、前記ユーザが、前記画面表示された支援内容を確認すると共に、映画作成の進行状況を確認できることを特徴とする請求項1又は2に記載の自主映画作成支援システム。

【請求項4】 前記運営支援手段は、互いに関連する支援内容の項目とその関係を前記ユーザ端末に画面表示することを特徴とする請求項3に記載の自主映画作成支援システム。

【請求項5】 前記映画作成支援手段は、映画作成のための予算の貸付け者を、通信回線を通じて前記ユーザに仲介する予算支援手段を含むことを特徴とする請求項1から4のいずれか一項に記載の自主映画作成支援システム。

【請求項6】 前記映画作成支援手段は、映画の脚本について、通信回線を通じて支援を行う脚本支援手段を含むことを特徴とする請求項1から5のいずれか一項に記載の自主映画作成支援システム。

【請求項7】 前記映画作成支援手段は、前記ユーザが必要な機材を選択する機材選択手段を含むことを特徴とする請求項1から6のいずれか一項に記載の自主映画作成支援システム。

【請求項8】 前記映画作成支援手段は、作成する映画のキャストを、通信回線を通じて募集し、選定するキャスト支援手段を含むことを特徴とする請求項1から7のいずれか一項に記載の自主映画作成支援システム。

【請求項9】 前記映画作成支援手段は、映画作成にあたって、予算管理を自動的に行う予算管理支援手段を含むことを特徴とする請求項1から8のいずれか一項に記載の自主映画作成支援システム。

【請求項10】 前記自主映画作成支援システムであって、さらに、前記支援申し込みについて、前記支援を行うかどうかを決定する支援審査手段を含むことを特徴とする請求項1から9のいずれか一項に記載の自主映画作成支援システム。

ム。

【請求項11】 前記支援審査手段は、前記支援申し込みがあった場合に前記支援申し込みを自動審査する自動審査手段を含むことを特徴とする請求項10に記載の自主映画作成支援システム。

【請求項12】 前記自主映画作成支援システムであって、さらに、作成された映画についての映像及び音響の編集を支援する編集支援手段を含むことを特徴とする請求項1から11のいずれか一項に記載の自主映画作成支援システム。

【請求項13】 前記編集支援手段は、作成された映画の映像編集及び音響編集を通信回線を通じて行う映像及び音響編集支援手段を含むことを特徴とする請求項12に記載の自主映画作成支援システム。

【請求項14】 前記自主映画作成支援システムであって、さらに完成した映画の上映を支援する上映支援手段を含むことを特徴とする請求項1から13のいずれか一項に記載の自主映画作成支援システム。

【請求項15】 前記上映支援手段は、完成した映画の上映場所を、通信回線を通じて検索する上映場所検索支援手段を含むことを特徴とする請求項14に記載の自主映画作成支援システム。

【請求項16】 前記上映支援手段は、完成した映画の広告を通信回線を通じて行う広告支援手段を含むことを特徴とする請求項14又は15に記載の自主映画作成支援システム。

【請求項17】 前記上映支援手段は、上映された映画に対する視聴者の視聴者の反応を収集する反応収集支援手段を含むことを特徴とする請求項14から16のいずれか一項に記載の自主映画作成支援システム。

【請求項18】 ユーザが自主映画作成を行うにあたって、通信回線を通じて支援を行うシステムを運用する支援サーバであって、通信回線を通じて前記ユーザからの自主映画作成の支援申し込みを受付ける支援申し込み手段と、前記ユーザの映画作成にあたって、映画作成を支援する映画作成支援手段とを備えたことを特徴とする自主映画作成支援システム用の支援サーバ。

【請求項19】 通信回線を通じてユーザからの自主映画作成の支援申し込みを受付ける支援申し込みステップと、前記ユーザの映画作成にあたって、映画作成を支援する映画作成支援ステップとを含むことを特徴とする自主映画作成支援プログラムを記録したコンピュータ読取り可能な媒体。

【請求項20】 通信回線を通じてユーザからの自主映画作成の支援申し込みを受付ける支援申し込みステップと、前記ユーザの映画作成にあたって、映画作成を支援する

3

映画作成支援ステップとを含むことを特徴とする自主映画作成支援プログラム。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、通信回線を介して行う自主映画作成支援システム、自主映画作成支援システム用の支援サーバ、自主映画作成支援プログラムを記録したコンピュータ読取り可能な媒体及び自主映画作成支援プログラムに関する。

【0002】

【従来の技術】映画作成には、脚本、大掛かりなセット、ロケ、撮影機器、監督、キャスト（俳優）、スタッフ等、多大な費用と膨大な準備が必要であったため、大きな映画会社で作成できるのみであった。テレビが普及した後、一般大衆の使用を目的とした8mmカメラ、ビデオカメラも販売されるようになったが、映画撮影のような大画面用としては画質や機能は十分なものではなかった。しかし、近年、動画を撮影するビデオカメラやデジタルカメラ等の映像機器や音響機器は飛躍的に進歩し、高性能化が進んでいる。その一方、低価格化によってビデオカメラやデジタルカメラ等は、広く一般に普及するようになってきている。そこで、一般大衆においてもこれらの機器を用いた風景等の撮影の試みや編集等が容易に行われるようになってきた。さらには、脚本や俳優等を用いての小規模な映画作成を試みる、いわゆる自主映画作成の試みもなされている。なお、自主映画作成として一般に確定された定義はないが、少なくとも脚本、撮影機器、監督、キャスト等を用いて行う小規模な映画作成と考えられる。

【0003】このような自主映画作成の場合、一般に用いられているビデオカメラ、デジタルカメラでの風景等の撮影に比べて、今なお様々な準備が必要であり、ある程度の費用も要する。例えば、比較的小規模な映画作成であっても、脚本、キャスト、それに汎用のビデオカメラ等に比べて高額な撮影機器が用いられる。また、撮影を野外で行う場合にはロケ等の準備が必要となる。例えば、ユーザが脚本を用意している場合は少ない。また、汎用のビデオカメラ等に比べて高額な撮影機器のレンタルは大都市に集中している等の環境のため、地方在住者には不便な状態となっている。キャストの募集なども新聞、雑誌等のメディアを使った広告には多大な費用を要する。このような背景のもとでは、一般ユーザにとっては入手できる情報等が十分ではない。また、撮影機器のメーカー等においては、撮影ノウハウ等を有しているが、一般ユーザへ伝達する有効な手段を有していない場合が多い。

【0004】一方、近年、通信回線としてインターネットの普及が飛躍的に伸びており、情報伝達的手段として有効に活用され始めている。このインターネットでは、複数の当事者間で、双方向の情報のやり取りが可能であ

(3)

特開2002-215837

4

り、様々な分野での利用可能性が期待されている。

【0005】

【発明が解決しようとする課題】最近、撮影機器のレンタルなどの環境は少しずつ整いつつあるものの、映画作成に必要な個々の要素を集めた総合的な自主映画作成の支援システムは未だ構築されていない。そのため、自主映画作成とその支援は、ユーザや撮影機器のメーカー等の支援側にとって今なお容易なものではない。

【0006】そこで、本発明の目的は、ユーザが容易に自主映画作成を行うことができ、また支援側が容易に支援を行うことができる自主映画作成支援システム、自主映画作成支援システム用の支援サーバ、自主映画作成支援プログラムを記録したコンピュータ読取り可能な媒体及び自主映画作成支援プログラムを提供することである。

【0007】

【課題を解決するための手段】本発明に係る自主映画作成支援システムは、ユーザが自主映画作成を行うにあたって、通信回線を通じて支援を行うシステムであって、通信回線を通じて前記ユーザからの自主映画作成の支援

20

申し込みを受け付ける支援申し込み手段と、前記ユーザの映画作成にあたって、映画作成を支援する映画作成支援手段とを含むことを特徴とする。

【0008】また、本発明に係る自主映画作成支援システムは、前記自主映画作成支援システムであって、前記支援申し込み手段は、支援レベルを選択する支援レベル選択手段を含むことを特徴とする。

【0009】さらに、本発明に係る自主映画作成支援システムは、前記自主映画作成支援システムであって、前記映画作成支援手段は、前記ユーザ端末に前記通信回線を通じて支援内容を画面表示する運営支援手段をさらに含み、前記運営支援手段によって、前記ユーザが、前記画面表示された支援内容を確認すると共に、映画作成の進行状況を確認できることを特徴とする。

30

【0010】またさらに、本発明に係る自主映画作成支援システムは、前記自主映画作成支援システムであって、前記運営支援手段は、互いに関連する支援内容の項目とその関係を前記ユーザ端末に画面表示することを特徴とする。

40

【0011】また、本発明に係る自主映画作成支援システムは、前記自主映画作成支援システムであって、前記映画作成支援手段は、映画作成のための予算の貸付け者を、通信回線を通じて前記ユーザに仲介する予算支援手段を含むことを特徴とする。

【0012】さらに、本発明に係る自主映画作成支援システムは、前記自主映画作成支援システムであって、前記映画作成支援手段は、映画の脚本について、通信回線を通じて支援を行う脚本支援手段を含むことを特徴とする。

50

【0013】またさらに、本発明に係る自主映画作成支

5

援システムは、前記自主映画作成支援システムであって、前記映画作成支援手段は、前記ユーザが必要な機材を選択する機材選択手段を含むことを特徴とする。

【0014】また、本発明に係る自主映画作成支援システムは、前記自主映画作成支援システムであって、前記映画作成支援手段は、作成する映画のキャストを、通信回線を通じて募集し、選定するキャスト支援手段を含むことを特徴とする。

【0015】さらに、本発明に係る自主映画作成支援システムは、前記自主映画作成支援システムであって、前記映画作成支援手段は、映画作成にあたって、予算管理を自動的に行う予算管理支援手段を含むことを特徴とする。

【0016】またさらに、本発明に係る自主映画作成支援システムは、前記自主映画作成支援システムであって、さらに前記支援申し込みについて、前記支援を行うかどうかを決定する支援審査手段を含むことを特徴とする。

【0017】また、本発明に係る自主映画作成支援システムは、前記自主映画作成支援システムであって、前記支援審査手段は、前記支援申し込みがあった場合に前記支援申し込みを自動審査する自動審査手段を含むことを特徴とする。

【0018】さらに、本発明に係る自主映画作成支援システムは、前記自主映画作成支援システムであって、さらに作成された映画についての映像及び音響の編集を支援する編集支援手段を含むことを特徴とする。

【0019】またさらに、本発明に係る自主映画作成支援システムは、前記自主映画作成支援システムであって、前記編集支援手段は、作成された映画の映像編集及び音響編集を通信回線を通じて行う映像・音響編集支援手段を含むことを特徴とする。

【0020】また、本発明に係る自主映画作成支援システムは、前記自主映画作成支援システムであって、さらに完成した映画の上映を支援する上映支援手段を含むことを特徴とする。

【0021】さらに、本発明に係る自主映画作成支援システムは、前記自主映画作成支援システムであって、前記上映支援手段は、完成した映画の上映場所を、通信回線を通じて検索する上映場所検索支援手段を含むことを特徴とする。

【0022】またさらに、本発明に係る自主映画作成支援システムは、前記自主映画作成支援システムであって、前記上映支援手段は、完成した映画の広告を通信回線を通じて行う広告支援手段を含むことを特徴とする。

【0023】また、本発明に係る自主映画作成支援システムは、前記自主映画作成支援システムであって、前記上映支援手段は、上映された映画に対する視聴者の視聴者の反応を収集する反応収集支援手段を含むことを特徴とする。

(4)

特開2002-215837

6

【0024】本発明に係る自主映画作成支援システム用の支援サーバは、前記自主映画作成支援システムであって、ユーザが自主映画作成を行うにあたって、通信回線を通じて支援を行うシステムを運用する支援サーバであって、通信回線を通じて前記ユーザからの自主映画作成の支援申し込みを受付ける支援申し込み手段と、前記ユーザの映画作成にあたって、映画作成を支援する映画作成支援手段とを備えたことを特徴とする。

【0025】本発明に係る自主映画作成支援プログラムを記録したコンピュータ読取り可能な媒体は、通信回線を通じてユーザからの自主映画作成の支援申し込みを受付ける支援申し込みステップと、前記ユーザの映画作成にあたって、映画作成を支援する映画作成支援ステップとを含むことを特徴とする。

【0026】本発明に係る自主映画作成支援プログラムは、通信回線を通じてユーザからの自主映画作成の支援申し込みを受付ける支援申し込みステップと、前記ユーザの映画作成にあたって、映画作成を支援する映画作成支援ステップとを含むことを特徴とする。

【0027】

【発明の実施の形態】本発明の内容について理解を容易にするため、添付図面を用いて以下に実施の形態に関して説明する。本発明の実施の形態に係る自主映画作成支援システムは、支援申し込み手段、支援審査手段、映画作成支援手段、編集支援手段、それに上映支援手段とを含む。具体的には、本発明の実施の形態に係る自主映画作成支援システムは、ユーザが自主映画作成を行うにあたって、通信回線を通じて支援を行うシステムであって、ユーザからの自主映画作成の支援申し込みを受付ける支援申し込み手段と、前記支援申し込みについて、支援を行うかどうかを決定する支援審査手段と、ユーザの自主映画作成にあたって、映画作成を支援する映画作成支援手段と、作成された映画についての映像及び音響の編集を支援する編集支援手段と、完成した映画の上映を支援する上映支援手段とを含む。これによって、この自主映画作成支援システムの運営側は、ユーザの自主映画作成を容易に支援することができる。そこで、ユーザは容易に自主映画作成ができる。

【0028】また、本発明の第2の態様では、支援申し込み手段、支援審査手段、映画作成支援手段、編集支援手段、それに上映支援手段を備えた支援サーバである。この支援サーバによって、自主映画作成支援システムを運用することができる。これによってユーザが自主映画を作成するにあたって、支援することができ、ユーザは容易に自主映画作成ができる。

【0029】さらに、本発明の第3の態様では、支援申し込みステップ、支援審査ステップ、映画作成支援ステップ、編集支援ステップ、それに上映支援ステップを含む自主映画作成支援プログラムを記録しているコンピュータ読取り可能な媒体である。この媒体から自主映画作成

7

支援プログラムを実行することによって自主映画作成支援システムを運用することができる。これによってユーザが自主映画を作成するにあたって、支援することができる、ユーザは容易に自主映画作成ができる。

【0030】（実施の形態1）本発明の実施の形態1に係る自主映画作成支援システム1では、図1に示すように、このシステムを運用する支援サーバ3は、通信回線10を通じてユーザ端末2と接続される他、脚本家21、機材レンタル会社22、キャスト23、編集場所（編集スタジオ）24、上映場所25、貸付会社26等と接続される。このように、様々な支援を統合したこのシステムを利用することで、ユーザは、自主映画作成にあたって必要な種々の準備を容易に行うことができる。また、このシステムを運用する側においても一つのサイトで容易に支援することができる。

【0031】また、この支援サーバ3は、通信回線に接続されているコンピュータであってもよい。この支援サーバ3を構成するコンピュータとしては、例えば、図2に示すように、その物理構成は、CPU11、ROM12、RAM13、記憶媒体14、入力装置16、出力装置17、それに通信装置15からなる。さらに具体的には、記憶媒体14として、MOやMD等の光磁気記録媒体、CD-R、DVD等の光ディスク、FD、HD等の磁気記録媒体などを含んでいてもよい。また入力装置16としては、キーボード、マウス、トラックボール等を含んでいてもよい。出力装置17としては、表示装置、プリンタを含んでいてもよい。通信装置15は、通信回線と双方向通信可能であればよい。

【0032】また、本発明の実施の形態1に係る自主映画作成支援システム1は、図3に示すように、支援申込み手段4、支援審査手段5、映画作成支援手段6、編集支援手段7、それに上映支援手段8とを含む。具体的には、本発明の実施の形態に係る自主映画作成支援システム1は、ユーザが自主映画作成を行うにあたって、通信回線10を通じて支援を行うシステムであって、ユーザからの自主映画作成の支援申し込みを受け付ける支援申込み手段4と、前記支援申込みについて、支援を行うかどうかを決定する支援審査手段5と、ユーザの自主映画作成にあたって、映画作成を支援する映画作成支援手段6と、作成された映画についての映像及び音響の編集を支援する編集支援手段7と、完成した映画の上映を支援する上映支援手段8とを含む。この自主映画作成支援システム1によって、ユーザが自主映画を作成するにあたって、支援側は通信回線を通じて容易に支援することができる。これによってユーザは容易に自主映画作成ができる。

【0033】以下、この自主映画作成支援システムを構成する各構成要素について、それぞれ説明する。まず、この通信回線10とは、例えば、インターネットや特定領域内でのイントラネット等であり、有線又は無線のい

(5)

特開2002-215837

8

ずれを含んでいてもよい。この通信回線は、ユーザがアクセス可能である必要がある。なお、以下、通信回線として、インターネットを通じてユーザ等が支援システムを運用している支援サーバ3にアクセスしている場合について説明する。

【0034】ユーザが通信回線を通じてこの自主映画作成支援システムにアクセスした場合、支援サーバ3によって、例えば、図4に示す画面101が最初に表示される。この最初の画面101では、「自主映画作成支援」等のタイトル画面102、「支援申込み」103、「キャスト募集」104、「支援メニュー」105、「データベース」106、「完成映画試聴」107の各ボタンを表示していてもよい。なお、支援を受けようとするユーザは、この「支援申込み」103のボタンを最初にクリックする。次に、キャストの募集が行われている場合に、「キャスト募集」104のボタンをクリックするとキャスト募集の詳細が表示される。また、「支援メニュー」105のボタンをクリックすると、この自主映画選択支援システムで支援を受けることができる支援項目をリストして表示する。さらに、「データベース」106のボタンをクリックすると、脚本データベースやキャストデータベース、映像データベース、音響データベース等の映画作成に利用しうるデータベースの詳細が表示される。既に完成している映画がある場合に「完成映画試聴」107のボタンをクリックすると、試聴できる完成映画の詳細が表示される。以下の説明では、この自主映画作成支援システムを構成する各構成要素について、

「支援申込み」103、「支援メニュー」105のボタンをクリックした場合に、支援サーバ3で実行される処理との関係を中心にして説明する。

【0035】まず、この支援申し込み手段4は、例えば、支援レベル選択手段や支援内容変更手段を含む。具体的には、支援レベル選択手段では、図4の支援申込みのボタン103をクリックすると、図7のフローチャートに示すように、図5に示す支援申込みの画面108が表示される（201）。この支援申込みの画面108では、例えば、支援申込みのタイトル109、支援レベルの上級110、中級111、初級112、支援内容の変更113の各ボタンを表示する。なお、支援レベルについて上級、中級、初級をさらに詳細に区分してもよい。この支援レベルは、例えば、上級になるほど支援を受ける程度が少なくなるように支援内容を設定するものである。選択し得る支援レベルを画面表示し（201）、ユーザが画面表示されている支援レベルから支援レベルを選択すると、その支援レベルを受け付け（202）、ユーザが受ける支援内容を記憶する支援テーブルを作成する（203）。なお、この支援テーブルは、各ユーザの支援申込みごとに作成され、その後の支援の際、利用する支援内容を取得するために参照される。

【0036】また、支援申込みの画面は、図5に示す場

9

合に限られず、例えば、図6に示すように、各支援項目ごとにその支援レベルと支援内容を記載したテーブル117からユーザが選択する形式であってもよい。さらに、ユーザが直接入力するのではなく、例えば、ユーザと支援システム運営側とが会話形式で支援申込みの選択を行ってもよい。この場合の会話はユーザとシステム運営側の人との間での音声会話でもよい。

【0037】また、支援内容変更手段は、図5で支援内容の変更のボタン113をクリックした場合に、支援サーバ3で実行される支援内容変更ステップによって構成される。まず、図8に示すように、支援内容の一覧を画面表示し(211)、ユーザが追加・削除する支援内容を選択すると、ユーザの選択内容を受け付け(212)、支援テーブルを書換える(213)。この場合に、画面表示される支援内容の一覧は、選択した支援レベルで規定されている支援内容は選択済みの表示をし、未選択の支援内容を視覚的に区別できるようにしておく。この支援内容変更手段によって、規定の支援内容から各ユーザの支援申込み一件ごとに最適な支援内容へと変更できる。

【0038】次に、支援審査手段5は、自動審査手段を有していてもよい。この自動審査手段は、例えば、あらかじめ支援サーバの記憶媒体上に記憶されている自動審査処理である。この自動審査処理では、図9に示すように、支援申込みがあったことを確認し(221)、支援テーブルを読み込み(222)、申込み内容についてあらかじめ定めた複数の条件に該当するか否かを判断し(223)、支援を行うか否かの仮決定を出力する(224、225)。なお、この仮決定は、自主映画作成支援システムを運用している支援サーバの管理者に送られ、専門家による審査を行ってもよい。この専門家の審査では、自動審査プログラムによる仮決定がある場合にはこの決定を参考にして、支援サーバの管理者等を含む専門家による電子会議等によって支援申込みに対して支援を行うか否かを決定してもよい。この支援を行うか否かの決定はユーザに電子メール等で伝えられる。

【0039】また、この支援審査手段5では、ユーザからの支援申込みに関するシステムからの提案を送信する手段を含んでいてもよい。具体的には、図10に示すように、支援申込み内容に対して、支援システムの運用側が入力した提案内容を支援サーバ3が受け付け(231)、入力された提案を通信回線を通じてユーザに送信し(232)、ユーザからの了承を受け付けた場合には支援テーブルを書換える(233)。なお、ここで提案内容としては、例えば、ユーザが求めている支援内容について、より実態に応じた支援内容をシステム側において支援サーバで実行される提案内容検討プログラムによって選択してもよい。この支援審査手段による審査や提案等によってこの支援システムでユーザが受ける支援内容が決められ、支援テーブルに記憶される。

(6)

特開2002-215837

10

【0040】さらに、映画作成支援手段6としては、例えば、運営支援手段、予算支援手段、脚本支援手段、機材支援手段、キャスト支援手段、それに予算管理支援手段を含む。これらのいくつかは、図4で支援メニューのボタン105をクリックして表示される支援メニューの画面121に表示される各ボタンをクリックして支援サーバで実行される。この支援メニューの画面121に表示される映画作成支援の項目としては、例えば、図11に示すように、支援メニューのタイトル122、運営支援123、脚本支援124、機材支援125、キャスト支援126、予算管理支援127の各ボタンがある。以下にこの映画作成支援手段の各要素について、上記各ボタンをクリックして支援サーバで実行される各ステップとの関係について詳述する。

【0041】まず、この予算支援手段では、図11の画面表示例には示していないが、支援テーブルの内容から自動的に必要な予算を見積る予算見積り手段や、不足する予算について貸付け者をユーザに仲介する予算貸付仲介手段を含む。具体的には、予算見積り手段では、図12に示すように、支援申込みがあった場合に支援テーブルを読み込み(241)、支援申込みの各項目ごとにあらかじめ設定した金額をそれぞれ積算して(242)、見積り予算を表示し(243)、支援テーブルに見積り予算を書き込む(244)。また、予算貸付仲介手段では、図13に示すように、支援テーブルを読み込み(251)、支援サーバ3に登録されている銀行、信用金庫、労働金庫等の金融貸付け業者のリストを画面表示し(252)、ユーザが選択した貸付け業者を受け付け(253)、選択された貸付け業者の詳細情報を表示する(254)。さらに、通信回線を通じてシステムの支援サーバ3から貸付け依頼を発信してもよい。なお、自動的に実行するのではなく、必要により実行される形式であってもよい。

【0042】まず、この運営支援手段では、上記の支援申込手段によって申し込んだ支援内容をユーザ端末に通信回線を通じて、例えば、図14及び図15に示すように、画面表示する。これによって、ユーザは支援内容を確認すると共に、映画作成の進行状況を確認できる。具体的には、この運営支援手段によって、例えば、図14に示すように、互いに関連する支援内容の項目間を線で結んでその関係を画面表示する。ここで、支援内容項目142から項目143、144、145に線で結ばれており、このうち項目144は破線で表わされているから、最初の支援申込み内容において支援内容から外されていることを示している。また、項目143から線で結ばれている項目146は、破線で示されているが項目146に至る線は実線であり、これから実行可能な項目であることを示している。さらに、面表示のレイアウトの例として、図15に示す画面151のように、支援メニューの幹152とこれにつながる大項目を示しておき、

11

大項目153を選択した場合、右に画面表示を展開する形式であってもよい。この場合、項目155、157は支援申込み内容に挙げている項目であって、項目156、158は選択されていない項目である。

【0043】さらに、脚本支援手段では、脚本をユーザが用意していない場合に、このシステムを運用している支援サーバの記憶媒体に記憶されている脚本データベース内から使用可能な脚本を選択できる脚本選択手段を含む。また、専門の脚本家に通信回線を通じて脚本の作成を依頼して、ユーザの希望する内容に沿った脚本を作成してもらう脚本依頼手段を含む。さらに、ユーザが持ちこんだ脚本や選択した脚本について、通信回線を通じて専門の脚本家21によるアドバイスを受けることができる脚本アドバイス支援手段を含む。具体的には、この脚本選択手段では、図11の脚本支援のボタン124をクリックすると、図16に示すように、支援サーバ上の脚本データベースから使用可能な脚本リストを表示し(261)、ユーザが使用しようとする脚本を選択すると、この選択を受け付け(262)、選択された脚本を表示する(263)。なお、選択された脚本の画面表示の他、ユーザ端末へのダウンロード、又はその所在個所を示す等を選択できるようにしてもよい。また、脚本アドバイス支援手段では、ユーザは、複数の脚本家から通信回線を通じてアドバイスを入手することができるとともに、質問とそれに対するコメントのやりとりを支援サーバを介して行うことができる。

【0044】さらに、機材支援手段では、レンタルを受ける機材を選択し、使用場所に依じて機材の配送の経路を選択する。具体的には、図11の機材支援のボタン125をクリックすると、例えば、図17に示すように、レンタル可能な機材リストを表示し(271)、ユーザがレンタルを希望する機材の選択を受け付け(272)、機材使用場所の入力を受け付け(273)、使用可能な機材を最短経路や経費の安い経路等の条件に従って演算し(274)、いくつかの機材と配送経路を画面表示する(275)。

【0045】またさらに、キャスト支援手段は、採用対象のキャストデータベースを含んでいてもよい。具体的には、図11のキャスト支援のボタン126をクリックすると、図18に示すように、必要な条件を記載してキャスト募集の表示をし(281)、応募者からの入力を受け付け(282)、募集するキャストの条件に適合しない応募者には不採用の仮決定を出力し(284)、条件に適合する応募者をキャスト候補者リストに書き込み(285)、さらにキャストデータベースに書き込む(286)。なお、このキャスト募集の表示(281)は、図4で最初に表示される画面101のキャスト募集のボタン104をクリックした場合に表示される。キャストへの応募者は、このキャスト募集の表示に対して通信回線を通じて応募を行うことができる。また、特定の

(7)

特開2002-215837

12

キャスト候補者のみがアクセスできるようにしたキャスト募集のページを設けて、キャスト募集を行ってもよい。キャストデータベースは、支援サーバの記憶媒体に構築する。

【0046】また、進行管理支援手段としては、ロケ地の手配やヘリコプタの予約等の各種予約等を管理する予約管理手段、各キャストのスケジュールや撮影日程等のスケジュールを管理するスケジュール管理手段、それに予算に対して積算経費を監視する予算管理手段等を含む。具体的には、この予約管理手段では、例えば、進行予定にしたがって、通信回線を通じて宿泊地等の予約発注を行うことができる。また、予算管理手段では、図11で予算管理のボタン127をクリックすると、図19に示すように、入力された経費を受け付け(291)、経費を順次積算し(292)、この積算された経費と予算とを対比して、積算経費が予算を超える可能性があるかどうか判断し(293)、予算を超える可能性がある場合には予算枠内となるように支援内容の変更を行う支援内容変更ステップ(294)へと移行する。この支援内容変更ステップは、図7に示すステップである。また、支援内容の変更が行われた場合には、支援テーブルを書き換えて変更内容を反映させる。

【0047】次に、編集支援手段7は、撮影された映像についての映像・音響編集支援手段を含む。図4で支援メニューのボタン105をクリックすると、支援メニューの画面121に映像・音響編集支援128、編集場所紹介129の各ボタンが表示される。この映像・音響編集支援手段では、図11で映像・音響編集支援のボタン128をクリックすると、例えば、図20に示すように、ユーザが編集しようとする撮影済み映像・音響を通信回線を通じて入力し、支援サーバが受け付け(301)、カットや、CG映像等の特殊効果付加の映像処理(302)や映像に合わせて音声をかぶせるアフレコや、BGMの音響付加等の音響処理(303)を行い、さらに映像と音響との複合処理をし(304)、編集済みの映像・音響を出力する(305)。また、支援サーバ3の記憶媒体に映像編集用に使用可能な映像データベースを有していてもよい。ユーザは、この映像データベースから利用しようとする映像を選択して、撮影された映像に付加することができる。また、支援サーバの記憶媒体に音響編集用に使用可能な音響データベースを有していてもよい。ユーザは、この音響データベースから利用しようとする音響を選択して、収録された音響に付加することができる。

【0048】また、この編集支援手段7では、編集機能を備えたスタジオ等をユーザに仲介する編集場所紹介手段を備えていてもよい。具体的には、例えば、図11で編集場所紹介のボタンをクリックすると、図21に示すように、編集機能を備えたスタジオのリストを表示し(311)、ユーザが選択した編集場所を受け付け(31



13

2)、選択された編集場所の詳細を表示する(313)。なお、選択された編集場所に通信回線でアクセスできる場合には、直接アクセスを行って予約を入れるステップを付加してもよい。

【0049】さらに、上映支援手段8では、完成した映画の上映場所を、通信回線を通じて検索する上映場所検索手段や、完成した映画の一部を静止画又は動画として、通信回線を通じて支援サーバにアクセスしてきた視聴者の端末に流して広告する広告支援手段を含んでいてもよい。具体的には、上映場所検索手段では、例えば、ユーザから通信回線を通じて支援サーバに入力された上映場所の条件に基づいて、通常用いることのできる検索アルゴリズムを備えた検索プログラムで、インターネット上に公開されている映画上映可能な施設から条件に該当する施設を検索する。また、広告支援手段は、具体的には、図11で広告支援130のボタンをクリックすると、図22に示すように、支援サーバが完成映画の一覧を表示し(321)、視聴者が選択した映画を支援サーバ3が受付け(322)、選択された映画の一部のカット映像や動画を画面表示する(323)。

【0050】また、この上映支援手段8は、視聴者からの反応を収集し、分析する視聴者反応収集支援手段や、ユーザが使用した撮影機器等のアンケートを収集し、分析するユーザアンケート収集手段等を含む。具体的には、視聴者反応収集支援手段では、例えば、視聴者が通信回線を通じて送信してきた上映映画に対する感想等を支援サーバ3で受信し、メモリ等の記憶媒体に記憶できる。ユーザアンケート収集手段では、例えば、図11でユーザアンケート収集のボタン131をクリックすると、図23に示すように、ユーザが使用した機材のアンケートの入力を支援サーバが受付け(331)、各アンケート内容を項目毎に分類して積算し(332)、機材メーカーに通知する(333)。

【0051】(実施の形態2)本発明の実施の形態2に係る自主映画作成支援システム用の支援サーバは、ユーザが自主映画作成を行うにあたって、通信回線を通じて支援を行うシステムを運用する支援サーバであって、通信回線を通じて前記ユーザからの自主映画作成の支援申し込みを受付ける支援申し込み手段と、前記支援申し込みについて、支援を行うかどうかを決定する支援審査手段と、前記ユーザの映画作成にあたって、映画作成を支援する映画作成支援手段と、作成された映画についての映像及び音響の編集を支援する編集支援手段と、完成した映画の上映を支援する上映支援手段とを備えていてもよい。

【0052】また、この支援サーバ3は、通信回線に接続されているコンピュータであってもよい。この支援サーバ3を構成するコンピュータとしては、例えば、図2に示すように、その物理構成がCPU11、ROM12、RAM13、記憶媒体14、入力装置16、出力装

(8)

特開2002-215837

14

置17、それに通信装置15からなる。さらに具体的には、記憶媒体として、MOやMD等の光磁気記録媒体、CD-R、DVD等の光ディスク、FD、HD等の磁気記録媒体などを含んでいてもよい。また入力装置16としては、キーボード、マウス、トラックボール等を含んでいてもよい。出力装置17としては、表示装置、プリンタを含んでいてもよい。通信装置15は、通信回線と双方向通信可能であればよい。

【0053】さらに、この支援サーバ3は、記憶媒体14に、自動審査プログラム、脚本データベース、キャストデータベース、映像データベース、音響データベース等を有していてもよい。

【0054】(実施の形態3)本発明の実施の形態2に係るコンピュータ読取り可能な媒体は、支援申し込みステップと、映画作成支援ステップとを有する自主映画作成支援プログラムを記録している。好ましくは、さらに、支援審査ステップと、編集支援ステップと、上映支援ステップとを有する自主映画作成支援プログラムを記録している。具体的には、このコンピュータ読取り可能な媒体は、通信回線を通じてユーザからの自主映画作成の支援申し込みを受付ける支援申し込みステップと、前記支援申し込みについて、支援を行うかどうかを決定する支援審査ステップと、前記ユーザの映画作成にあたって、映画作成を支援する映画作成支援ステップと、作成された映画についての映像及び音響の編集を支援する編集支援ステップと、完成した映画の上映を支援する上映支援ステップとを有する自主映画作成支援プログラムを記録している。この媒体から自主映画作成支援プログラムを実行することによって、ユーザが自主映画作成を行うにあたって、通信回線を通じて支援することができ

る。

【0055】このコンピュータ読取り可能な媒体としては、例えば、ハードディスク(HD)、フロッピー(登録商標)ディスク(FD)等の磁気記録媒体、MO、MD等の光磁気記録媒体、CD、CD-R、DVD等の光ディスク、ROM、RAM等の半導体メモリなどを用いることができる。

【0056】

【発明の効果】以上、詳述した通り、この自主映画作成支援システムでは、ユーザが自主映画を作成するにあたって、支援側は通信回線を通じて映画作成の種々の面において、一つのサイトで容易に支援することができる。これによってユーザは容易に自主映画作成ができる。また、支援システムの運用側においては、例えば、新規な映像機器や音響機器等の機材に関するユーザのニーズを得ることができる。また、得られたニーズを直ちに商品開発にフィードバックすることができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】 本発明の実施の形態1に係る自主映画作成支援システムと通信回線との関係を示す概念図である。

15

【図2】 本発明の実施の形態2に係る支援サーバの構成を示すブロック図である。

【図3】 本発明の実施の形態1に係る自主映画作成支援システムのブロック図である。

【図4】 本発明の実施の形態1に係る自主映画作成支援システムによるインターネット上でのウェブサイトの最初の表示画面である。

【図5】 図4で支援申込みのボタンをクリックした場合に表示される支援申込み画面である。

【図6】 図4で支援申込みのボタンをクリックした場合に表示される支援申込み画面の別の例である。

【図7】 図4で支援申込みのボタンをクリックした場合に、支援サーバにおいて実行される支援申込みステップの処理フローである。

【図8】 図5で支援内容の変更のボタンをクリックした場合に、支援サーバにおいて実行される支援内容の変更ステップの処理フローである。

【図9】 図6の支援申込みステップが完了した後、支援サーバで実行される支援自動審査プログラムの処理フローである。

【図10】 図8の支援自動審査プログラムが完了した後、支援サーバで実行される提案送信ステップの処理フローである。

【図11】 図4の支援メニューのボタンをクリックして表示される支援メニューの表示画面である。

【図12】 支援申込みがあった場合に支援サーバで実行される予算見積りステップの処理フローである。

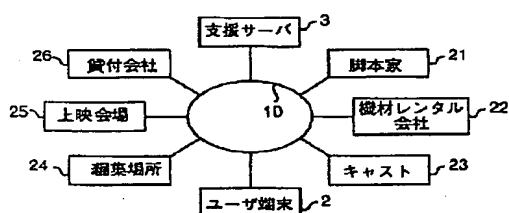
【図13】 支援サーバで実行される予算貸付け仲介ステップの処理フローである。

【図14】 図11で運営支援のボタンをクリックした場合に、表示される支援内容確認画面の例である。

【図15】 図11で運営支援のボタンをクリックした場合に、表示される支援内容確認画面の別の例である。

【図16】 図11で脚本支援のボタンをクリックした場合に、支援サーバで実行される脚本支援ステップの処理フローである。

【図1】



特開2002-215837

16

【図17】 図11で機材支援のボタンをクリックした場合に、支援サーバで実行される機材支援ステップの処理フローである。

【図18】 図11でキャスト支援のボタンをクリックした場合に、支援サーバで実行されるキャスト支援ステップの処理フローである。

【図19】 図11で予算管理支援のボタンをクリックした場合に、支援サーバで実行される予算管理支援ステップの処理フローである。

【図20】 図11で映像・音響編集支援のボタンをクリックした場合に、支援サーバで実行される編集支援ステップの処理フローである。

【図21】 図11で編集場所紹介のボタンをクリックした場合に、支援サーバで実行される編集場所紹介ステップの処理フローである。

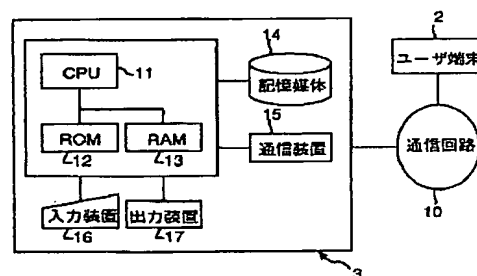
【図22】 図11で広告支援のボタンをクリックした場合に、支援サーバで実行される広告支援ステップの処理フローである。

【図23】 図11でユーザアンケート収集のボタンをクリックした場合に、支援サーバで実行されるユーザアンケート収集ステップの処理フローである。

## 【符号の説明】

- |                   |             |
|-------------------|-------------|
| 1 自主映画作成支援システム    | 2 ユーザ端末     |
| 3 支援サーバ           | 4 支援申込み手段   |
| 5 支援審査手段          | 6 映画作成支援手段  |
| 7 編集支援手段          | 8 上映支援手段    |
| 10 通信回線 (インターネット) | 11 CPU      |
| 12 ROM            | 13 RAM      |
| 14 記憶媒体           | 15 通信装置     |
| 16 入力装置           | 17 出力装置     |
| 21 脚本家            | 22 機材レンタル会社 |
| 23 キャスト           | 24 編集場所     |
| 25 上映会場           | 26 貸付会社     |

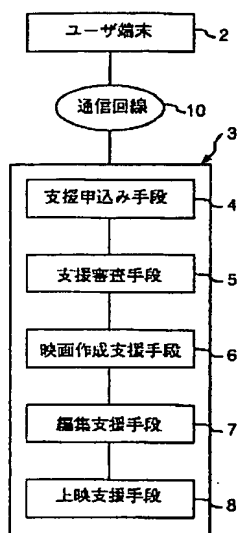
【図2】



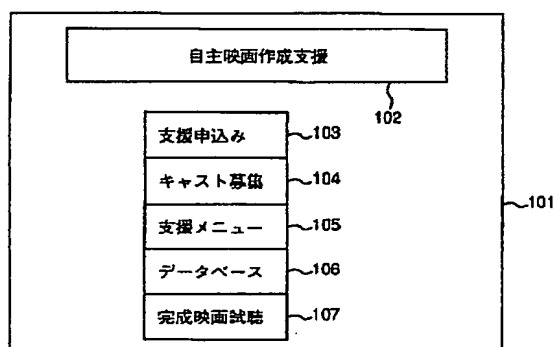
(10)

特開2002-215837

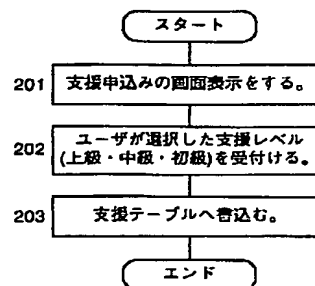
【図3】



【図4】



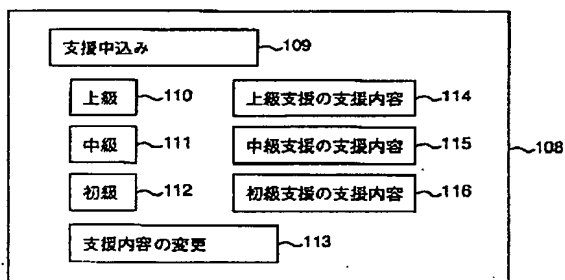
【図7】



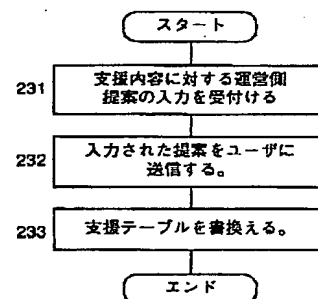
【図6】

レベル	1	2	3	4	5.
脚本支援	○(選択)				
キャスト支援	本人、 家族	○(選択) 公募	地元俳優	国内一流 俳優	世界的 俳優
運営支援		○(選択)			
編集支援	機型を 並べる だけ	つなぎ 編集	不要 カット	○(選択)	CGを駆 使した最 上級編集
上映支援 その他の オプション			○(選択)		

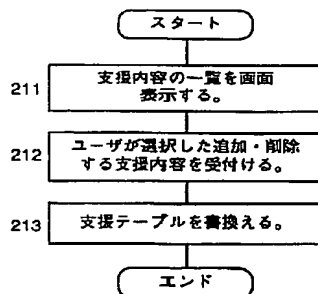
【図5】



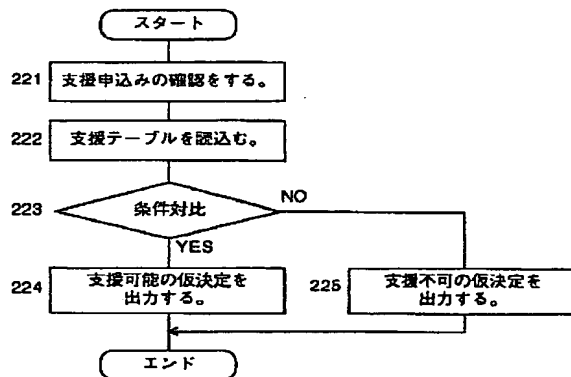
【図10】



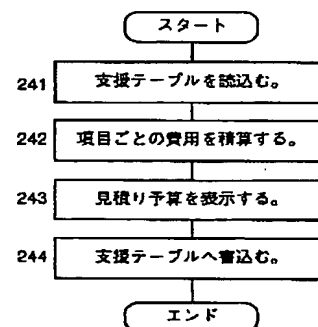
【図8】



【図9】



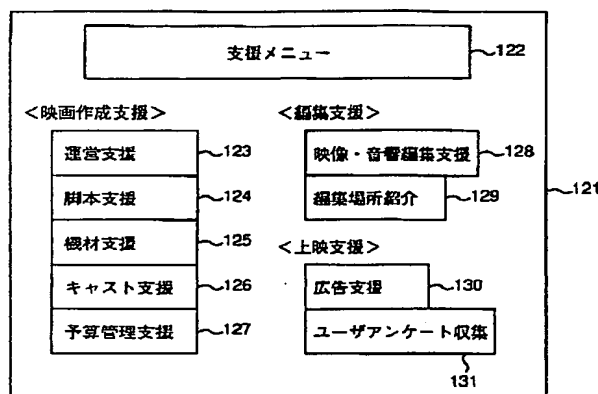
【図12】



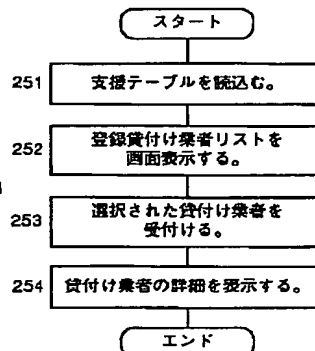
(11)

特開2002-215837

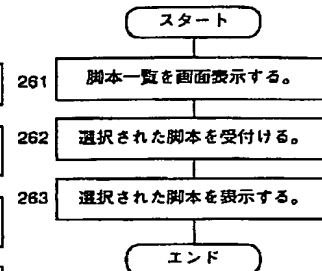
【図11】



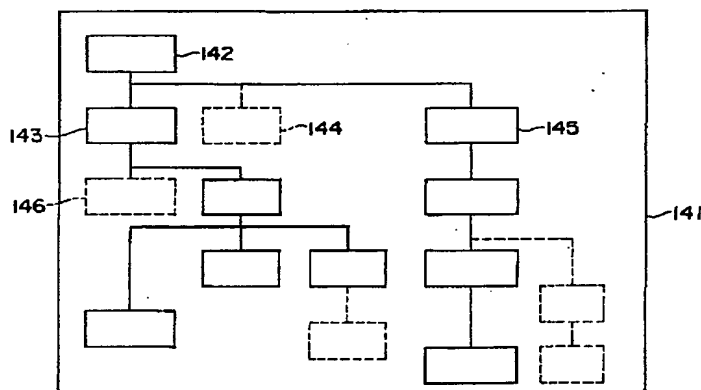
【図13】



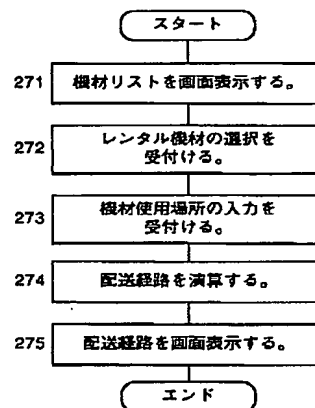
【図16】



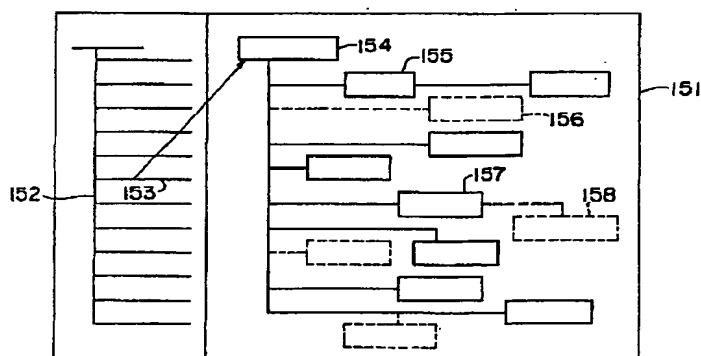
【図14】



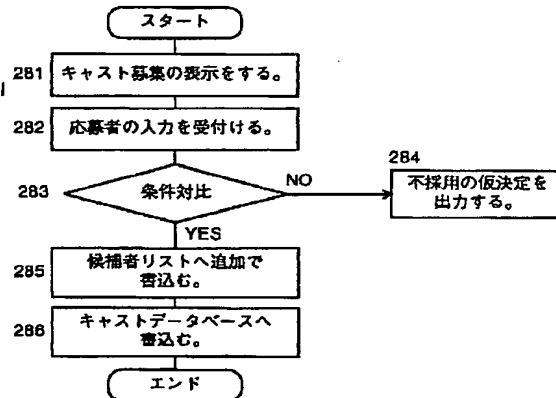
【図17】



【図15】



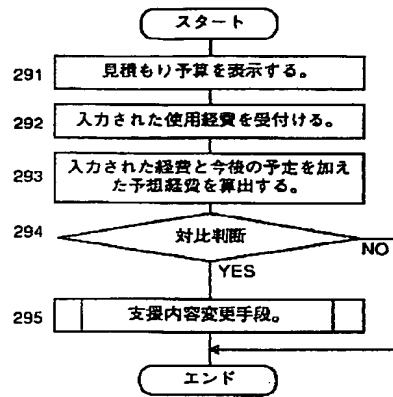
【図18】



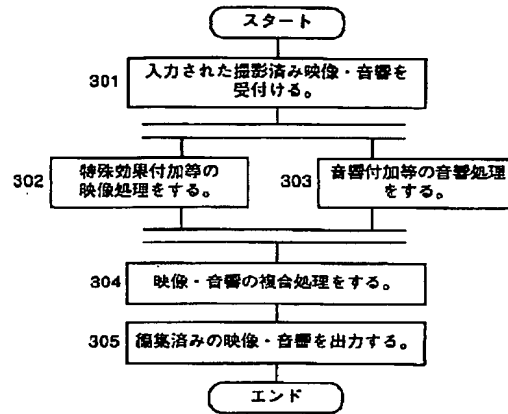
(12)

特開2002-215837

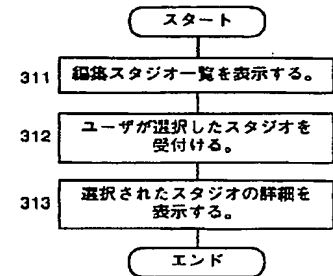
【図19】



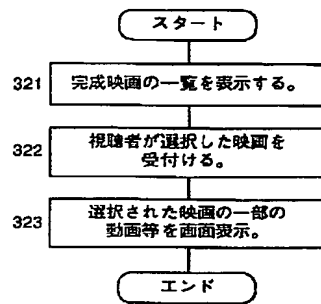
【図20】



【図21】



【図22】



【図23】

